



RICOH EUROPE B.V.
General Manager
Environmental Management Office 田中 光男

欧州での環境経営の推進

「サステナビリティ自己評価プログラム」を運用し、

販売会社の環境経営のレベルアップを図っています。

欧州の販売統括会社リコーヨーロッパでは、販売会社の環境経営を推進するために、2002年度に「SSAP*1 (サステナビリティ自己評価プログラム)」を開発しました。これは様々な角度から環境経営のレベルを自己診断し、そのレベルアップにつなげていくためのツールです。2003年度には28の販売会社で実施しました。診断結果を集計するだけでなく、対象会社の強み・弱みの解析を行い、グループ内の優れた活動を情報共有しています。プログラムを効果的に運用することで、欧州全域での環境経営のPDCA*2を回しています。

*1 SSAP:Sustainability Self Assessment Program

*2 PDCA:Plan-Do-Check-Action

Q

SSAPとはどのようなプログラムですか。

A

SSAPは、右の表のように12のカテゴリーと38の小項目から構成される自己評価プログラムです。環境マネジメントシステム(EMS)やリサイクルなどの項目について、その活動がどのレベルにあるかをチェックします。さらにそ

これらの活動が最終的に売上や知名度の向上など、企業価値の増大に結びついていくかも確認できるようになっています。

Q

SSAPを運用することで、なぜ環境経営が推進されるのですか。

A

環境経営とは、企業が継続的に環境保全に取り組むことを意味

します。そのためには、環境保全活動を通じて利益を生み出し、継続的に事業を発展させていく必要があります。SSAPは、相対評価ではなく、「理想の環境経営」に対して、自分達がどのレベルにあるかを絶対評価するプログラムです。SSAPを実施することで、自分達の「強み・弱み」が客観的に見えるため、環境経営の実現に向けて、次にどのような目標を設定すべきかが明確になるのです。

<SSAP運用による改善事例>



■ リコーイタリア

2004年2月より、ベニス市の大運河清掃事業「ベリカン・プロジェクト」の支援を開始しました。2002年度の自己評価の結果、カテゴリー9の「社会貢献」のポイントが低いことが明らかになり、改善に取り組んだ一つの成果です。ローマ広場からサンマルコ広場までの大運河に浮いたごみを、年間を通して一日5時間かけて回収するボートは、年間1,500万人の観光客とベニス市民が目にするため、リコーのイメージ向上につながります。また、清掃事業の成果は、リコーイタリアとベニス市のホームページに掲載されています。



■ リコーイタリア

2003年度、第6回「エコハイテクアワード」の特別賞を受賞しました。この賞は、イタリアの環境省、産業省、WWFなどが後援しているもので、リコーイタリアの「使用済み機器およびトナーカートリッジの回収・処理」活動が、メーカーとして先進的なものであり、イタリア環境法規定以上の優れた活動であることが高く評価されたものです。これは、カテゴリー3「回収・リサイクル」のポイント向上につながります。



■ リコーハンガリー

2003年8月、Aficio2035/2045が、OA機器として初めて、ハンガリーのタイプI環境ラベルの認証を取得しました。リコーハンガリーは、環境ラベルの認証基準づくりにも協力しました。これは、項目7「グリーンソリューション販売」のポイント向上につながります。

Q 高い効果を得るための、
運用のポイントは？

A いちばんのポイントは、診断結果がプログラムを運用している販売会社間で共有されていることです。リコーヨーロッパでは、各販売会社の自己評価結果を集計・解析するだけでなく、項目別にベンチマークすべきグループ会社の事例を紹介しています。これを見れば、改善のためにゼロから考える必要もなく、またグループ会社ですから、かなり深い部分まで情報開示しあえるのです。

Q 今後は、SSAPをどのように活用する予定ですか。

A SSAPを効果的に運用することで、それぞれの会社が効率的に環境経営のレベルアップを図れるようにプログラムの完成度を高めていきます。診断結果の変化を継続的に把握できるという点に配慮しながら、社会状況や法規制の変化に合わせて常にプログラムの内容を見直していきます。また、経営者やマネージャーが環境経営を推進していく上でより有効なツールにしてもらうため、診断結果を迅速・詳細に分析できるシステムを検討していきます。そして、より多くの販売会社が参加できるような仕組みづくりを行います。さらに、プログラムをアレンジすることで生産拠点でも活用することが可能になると考えています。

● SSAP (サステナビリティ自己評価プログラム) の評価カテゴリー

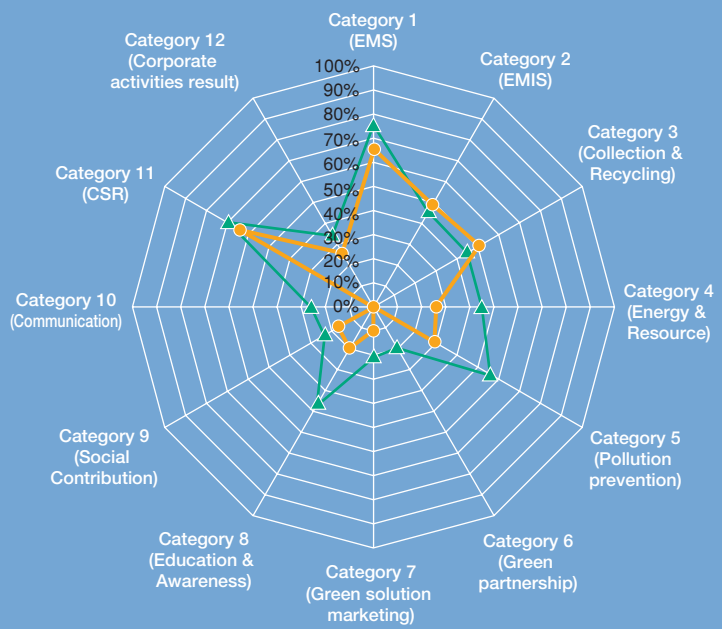
- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. EMS | 7. グリーンソリューション販売 |
| 2. 環境経営情報システム | 8. 環境教育・啓発 |
| 3. 回収・リサイクル | 9. 社会貢献 |
| 4. 省エネ・省資源 | 10. 環境コミュニケーション |
| 5. 汚染予防 | 11. 社会的責任 |
| 6. グリーンパートナーシップ | 12. 活動結果 |

● 自己評価結果例

<リコーイタリア (RIT)>

SSAP Analysis (Achieving Raito) for RIT (FY2002 Result : Total 42%, RIT : 33%)

▲ ALL Ricoh Group Act02 ● RIT Act02



● 各販売会社による環境経営のPDCA

